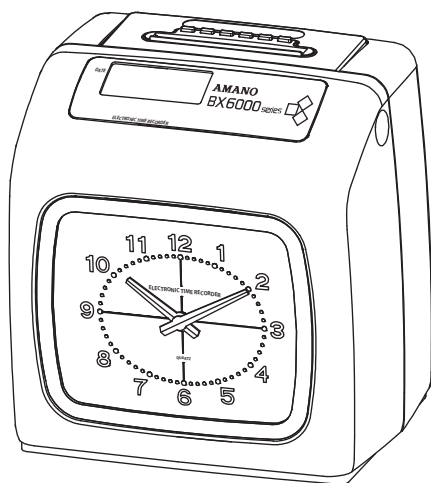


# AMANO

電子タイムレコーダー

## BX6000

### 取扱説明書



#### タイムレコーダー サポート&サービス

取扱説明書、お問い合わせ、  
チャットボットのご利用は  
こちらからご確認ください。



<https://www.amano.co.jp/Tr/support/index.html>

※ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。

※この取扱説明書は必ず保管してください。

## 目次

はじめに	
重要安全情報	1
安全にお使いいただくために	2
各部の名称	
外観	4
モデル名の確認方法	5
操作部	6
使用するカードについて	8
設置上の注意	
設置場所のご注意	9
設置のしかた	9
壁に掛けて使用する場合	10
電源について	11
すぐにご使用になる場合	
初期値一覧表	12
毎日の使いかた	
出勤・退勤の選びかた	13
タイムカードの入れかた	13
出勤者の人数を確認したい場合	14
設定のしかた	
上ケースの開閉	15
縮日の変更が必要な場合	16
空段位置の変更が必要な場合	17
時計を合わせたい場合	18
印字フォーマットの変更	20
曜日の印字を変更したい場合	22
印字段切換時刻の変更が必要な場合	23
サマータイムの設定をしたい場合	24
こんなときには	
故障かなと思ったら	26
エラーコード一覧とメッセージ	27
ニカド電池について	28
バッテリーの取りはずしかた	29
印字が薄くなってきたら	30
(リボンカセットの交換)	
保守	
日常のお手入れ	32
付録	
製品仕様	33
消耗品・別売品	33
製品保証とアフターサービス	34



# はじめに

このたびは、電子タイムレコーダー BX6000 をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

BX6000 を安全に正しくご使用いただくために、取扱説明書を必ずお読みください。  
取扱説明書は大切に保管してください。

## 製品の保証登録のお願い

アマノではご購入いただきました対象製品について、保証登録をしていただくことで、サポートセンターへのお問い合わせや製品の保証期間内の無償保証、メンテナンスサービスを提供しております。

お手数ですが保証登録をお願いいたします。

詳しい内容は、以下 URL の製品保証登録サイトをご覧ください。

## ご登録方法

---

### ■インターネットでの登録

下記の URL にアクセスし、入力フォームから登録してください。

(URL) [https://www.amano.co.jp/Tr/register/index\\_regist.html](https://www.amano.co.jp/Tr/register/index_regist.html)



お預かりしましたお客様の個人情報、今後弊社が取り扱う製品やサービスのご紹介、これらに関する展示会・セミナー等各種イベントのご案内に利用させていただきます、お客様の許可なく第三者に提供等いたしません。

## 製品保証、アフターサービスについてのお問い合わせ

---

タイムレコーダー・サポートセンターへのお問い合わせは、下記URL または QR コードの [お問い合わせ] ボタンよりお問い合わせいただけます。

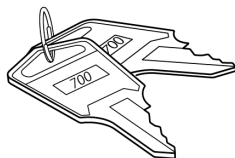
【サポート&サービス】

<https://www.amano.co.jp/Tr/support/index.html>

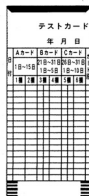


## 付属品をお確かめください

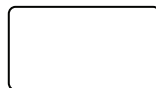
カギ1組(2本)



テストカード 1枚



サポート&サービス  
案内シール 1枚



プラスネジ 1本  
(背板に止めてあります)



取扱説明書(本書) 1冊



## 製品ご利用時の注意点


BX6000は設置環境が悪いと正常に使えなくなることがあります。  
屋外や雨水のかかるところでのご使用は避けてください。

## 取扱説明書ご利用時の注意点


製品改良のため、仕様・外形・記載事項等が変更になる場合があります。

# 重要安全情報


本機をご使用になる前に以下の**警告と注意**をよくお読みください。

 <b>危険</b>	誤った取り扱いをすると感電等による死亡または重傷を負う危険性あるいは火災等が発生する可能性が高い操作・説明では、この危険マークを付記します。
--	--

《補足》重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると感電等による死亡または重傷を負う危険性あるいは火災等の発生が想定される操作・説明では、この警告マークを付記します。
--	--

《補足》重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると火災・感電・けが等、使用者が傷害を負うことが想定される、または物的損害の発生が想定される操作・説明では、この注意マークを付記します。
--	---

《補足》傷害とは治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などを指します。物的損害とは家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

## 《電源に関する注意事項》

- 電源はAC100V（50/60Hz）です。安定した電源・電圧のもとでご使用ください。
- タイムレコーダーの電源は終夜電源にし、他の機器電源と独立させてください。
- 本機はリチウム電池を内蔵しています。停電になっても内部時計は歩進しています。ただし、停電時はタイムレコーダーの打刻はできません。

## 《上ケースを開ける場合の注意事項》

- 上ケースを開けてリボンカセット交換等を行うときは、スチールデスクなどの大きな金属に触れて静電気を除電して（取り除いて）から作業してください。  
故障等の原因となることがあります。

## ■絵表示の例■



高温注意

△記号は警告や注意を示します。具体的な警告や注意内容は△の中に絵で示します。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為を示します。具体的な禁止内容は⊘の中に絵で示します。



プラグを抜く

●記号は強制する行為を示します。具体的な強制内容は●の中に絵で示します。

# 安全にお使いいただくために

本機をご使用になる前に以下の**警告と注意**をよくお読みのうえ、お守りください。

## 警告



定格電圧外禁止

- ・ 本機に表示した電源電圧以外の電圧で使用しない。  
火災、感電の原因となります。



タコ足配線禁止

- ・ 電源は直接コンセントから取り、タコ足配線はしない。  
火災の原因となります。



ぬれ手禁止

- ・ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電の原因となります。



禁止

- ・ 電源コードを傷つけたり、破損しない。  
重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災・感電の原因となります。



改造禁止

- ・ 本機を改造しない。  
火災、感電の原因となります。



分解禁止

- ・ 本取扱説明書で取り外す手順を説明した部位以外は、分解したり触れたりしない。  
内部に電圧の高い部分があり、感電の原因となります。



プラグを抜く

- ・ 万一、煙が出ている、へんな臭いがする、発熱するなどの異常が発生した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、弊社タイムレコーダー・サポートセンターへ連絡する。  
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



プラグを抜く

- ・ 万一、異物(金属片、水、液体)が本機の内部に入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、弊社タイムレコーダー・サポートセンターへ連絡する。  
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



定期清掃

- ・ 電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接触部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取る。  
ほこりがたまり、火災の原因となります。



スプレー禁止

- ・ 可燃性のスプレー(ほこり除去スプレー、殺虫スプレー、除菌スプレーなど)を噴霧しない。  
火災・爆発の原因になります。



有機溶剤禁止

- ・ 有機溶剤(ベンジン、シンナー、除光液など)を使用しない。  
変形・溶解して、感電や火災の危険があります。

## ⚠ 注意



設置場所

- ・ 本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。  
万一、異常が発生した場合は、電源プラグを抜く。



禁止

- ・ ぐらついたり、傾斜した台などの不安定な場所に置かない。  
落下したり、転倒したりしてけがの原因となることがあります。



水ぬれ禁止

- ・ 本機の上に水の入った容器やピンなどの金属物を置かない。  
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があたるような場所、ほこりの多い場所やゴキブリなどがいる場所に置かない。  
火災、感電の原因となることがあります。



固定用具使用

- ・ 本機を壁掛けする場合は、本機の重さを十分に支えることができる壁材に適した固定用具を使用する。  
落下してけがの原因となることがあります。



プラグを持って抜く

- ・ 電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜く。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

- ・ リボンカセットを交換するときは、上ケースを外した後、電源プラグをコンセントから抜く。  
そのまま交換するとけがや感電の原因になることがあります。



プラグを抜く

- ・ 本機を移動させる場合は、電源プラグを抜く。  
電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



高温注意

- ・ 高温注意シールのところは触れない。  
やけどの原因になることがあります。

# 各部の名称

## 外観

### 欄ボタン(設定項目ボタン)

タイムカードへ印字する場所(欄)はこのボタンを押して選択します。

欄ボタンが点灯している所に印字します。

### カードポケット

ここからタイムカードを差し込みます。おもて面・うら面を誤って差し込んでも印字しない表裏判定機能がついています。

防塵(じん)ぶた  
使用しないときは、  
防塵(じん)ぶたを  
閉じます。

表示器  
日付・曜日・時刻を  
表示します。

アナログ時計  
遠くからでも時間の  
わかる大きな時計です。

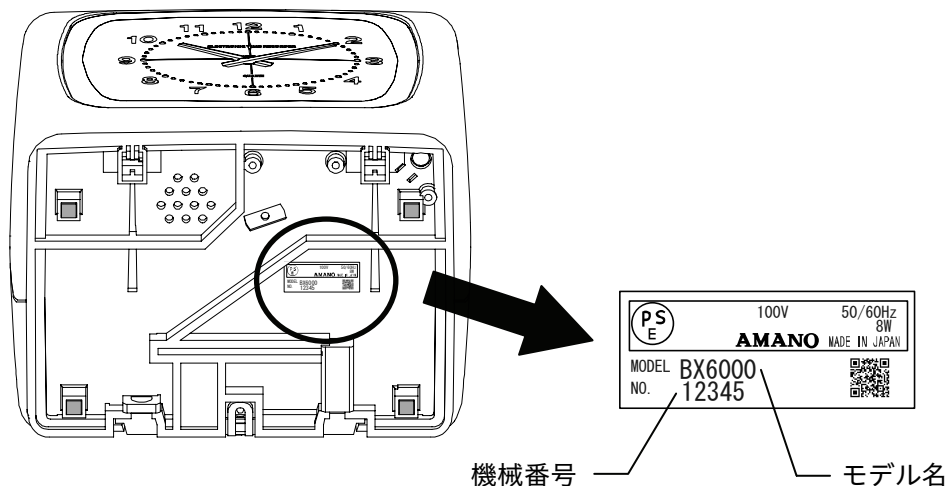
ケース開閉錠  
ケースを開けると  
きに、付属のカギで  
開けます。

上ケース  
リボンカセットの  
交換、設定や時計合  
わせをするときに  
開けます。

ご注意 上ケースを開けた状態でアナログ時計に触れないでください。  
時計部の故障の原因となります。



## モデル名の確認方法



モデル名（機種名）は機械の底面に貼られたシールに記載がございます。  
このシールでモデル名（機種名）を確認してください。

★上図の場合、モデル名（機種名）はBX6000です。

弊社支店・営業所、または弊社タイムレコーダー・サポートセンターにお問い合わせの際、まずはモデル名（機種名）をお伝えください。

お問い合わせ内容によっては機械番号をお伺いすることもございますので、機械番号も合わせてご確認ください。

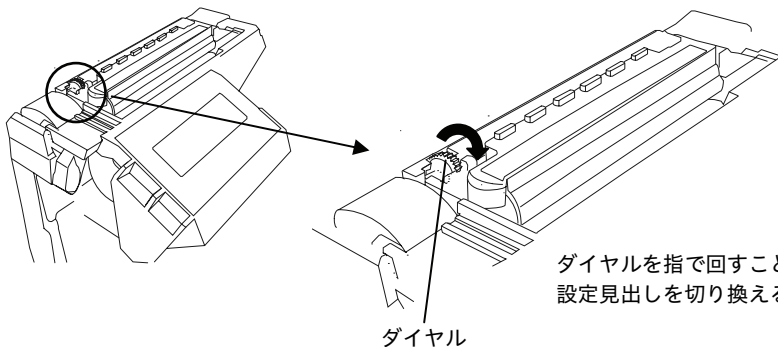
★上図の場合、機械番号は12345となります。

## 操作部

上ケースを開けて、各項目の設定を行います。

左側にあるダイヤルを回して設定見出しを回転させることで、設定見出し①～②を出すことができます。設定見出しの手前にあるボタンを押して操作します。

設定についての詳しい説明は、15 ページ以降を参照してください。

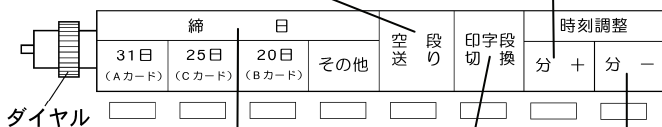


ダイヤルを指で回すことで、設定見出しを切り換えることができます。

### 設定見出し①

このボタンを押すと、空段の位置が変わります。押し続けると早送りします。

このボタンを押すと、時計が1分進みます。押し続けると、早送りします。このボタンを押した瞬間が0秒となります。アナログ時計も同時に動きます。



月末・25日・20日締めボタンがあります。任意の締め日を設定したい場合は、「その他」を押します。短く1回押すと表示が1日進みます。押し続けると早送りします。

このボタンを押すと、時計が1分戻ります。押し続けると、早送りします。このボタンを押した瞬間が0秒となります。アナログ時計も同時に動きます。

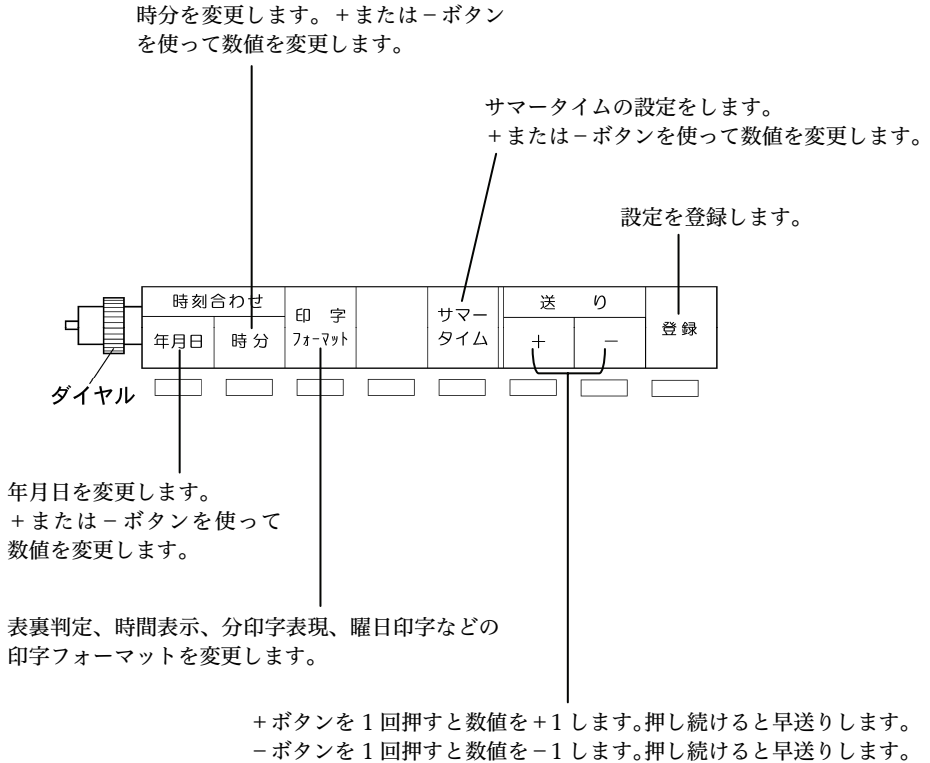
### 表示器



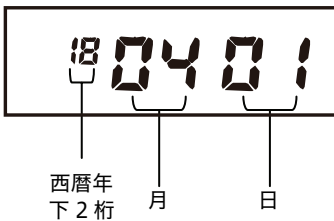
印字段切換時刻  
締め日  
空段位置

このボタンを押すと、タイムカードの印字段を切り換える時刻が変わります。押し続けると早送りします。

## 設定見出し②



## 表示器



# 使用するカードについて

アマノ標準タイムカードをご使用ください。

締日によりAカード、Bカード、Cカード、Dカードがあります。

誤ったカード面（表裏反対）を挿入すると「ピコピコピコッ」とブザーが鳴り、印字できません。

Aカード  
月末/15日締め（両面）

Bカード  
20日/5日締め（両面）

Cカード  
25日/10日締め（両面）

Aカード、Bカード、Cカードにはあらかじめ日付が印刷されています。  
締日に合ったカードをご利用ください。

上記以外の締日の場合は、日付の印刷がないDカードがご利用頂けます。

※例えばAカードでは、おもて面（青色の印刷面）から使い始めると月末締めに、  
うら面（赤色の印刷面）から使い始めると15日締めになります。

※本機はアマノ標準タイムカード以外をお使いのときは、正常な動作の保証をいたしません。

# 設置上の注意

## 設置場所のご注意

**⚠ 注意** 故障の原因となりますので、次のような場所に設置しないでください。



禁止

直射日光、熱源のそばには設置しない。



水ぬれ禁止

雨水のかかる場所には設置しない。



禁止

強い振動、衝撃を機器に与えない。



禁止

腐食性ガス、蒸気、塩害のある場所には設置しない。



禁止

調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があがるような場所、ほこりの多い場所やゴミブリなどがいる場所に置かない。

## 設置のしかた

台に置いて使用する場合は、水平な台に置いてご使用ください。

**⚠ 注意**



禁止

ぐらついたり、傾斜した台などの不安定な場所に置かない。  
落下したり、転倒したりしてけがの原因となることがあります。



固定用具使用

本機を壁掛けする場合は、本機の重さを十分に支えることができる  
壁材に適した固定用具を使用する。  
落下してけがの原因となることがあります。

本機は壁掛けでも使用することができます。  
壁に掛けてご使用になる場合は次ページをご覧ください。

# 壁に掛けて使用する場合

## ⚠ 注意

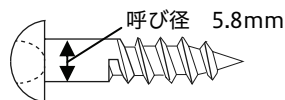


固定用具使用

- ・本機を壁掛けする場合は、本機の重さを十分に支えることができる壁材に適した固定用具を使用する。  
落下してけがの原因となることがあります。

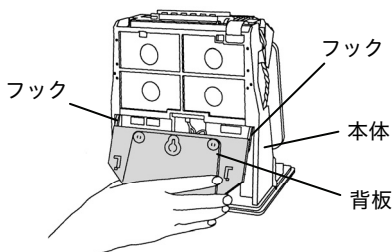
壁掛けが終わるまで電源プラグはコンセントに差し込まないでください。

呼び径 5.8mm の木ネジ（丸頭）を 4 本とドライバー、キリが必要です。



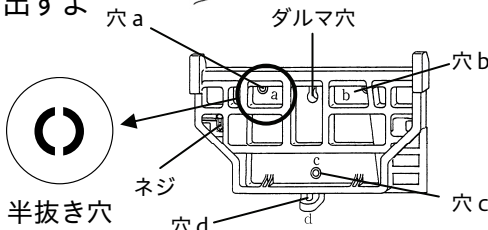
### 1 上ケースを開けて、背板をはずします

- ・背板を持ち、下部を少し手前に引きながら、下におろすようにしてはずします。
- ・背板にセットされているネジをはずします。



### 2 はずした背板のダルマ穴と、半抜き穴 a・b・c をドライバーで押し出すようにして穴を開けます

- ・背板は裏返した状態（右図）で穴を開けてください。
- ・半抜き穴 a・b・c の穴径は 6.2mm です。



### 3 ダルマ穴を壁の適当な高さに木ネジで固定し、次に半抜き穴 a・b・c を木ネジで固定します

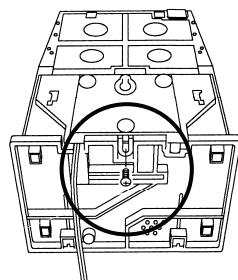
- ・下穴を開けないと、壁材が破損する可能性があります。下穴を開けてからドライバーで締めこんでください。
- ・下穴はキリを使用して開けてください。

### 4 本体を背板に引っ掛けます

- ・背板両側のフックを本体のみぞに合わせて、下から同時にはめ込みます。

### 5 穴 d を背板にセットされていたネジで下から固定します

### 6 上ケースを閉めます



# 電源について

## 警告



定格電圧外禁止

- ・本機に表示した電源電圧以外の電圧で使用しない。また、タコ足配線をしてはならない。  
火災、感電の原因となります。



ぬれ手禁止

- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電の原因となります。



禁止

- ・電源コードを傷つけたり、破損しない。

また、重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電の原因となります。



分解禁止

- ・本機の上ケース以外は外さない。内部は電圧の高い部分があり、感電の原因となります。



改造禁止

- ・本機を改造しない。  
火災、感電の原因となります。



プラグを抜く

- ・万一、煙が出ている、へんな臭いがする、発熱するなどの異常状態のときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いて弊社タイムレコーダー・サポートセンターに連絡する。  
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



プラグを抜く

- ・万一、異物（金属片、水、液体）が機器の内部に入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて弊社タイムレコーダー・サポートセンターに連絡する。  
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

## 注意



プラグを持って抜く

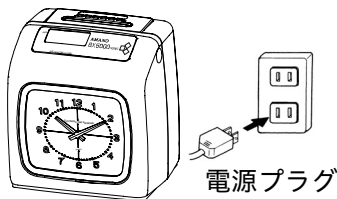
- ・電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



設置場所

- ・本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。  
万一、異常が発生した場合は、電源プラグを抜く。

電源プラグを電源コンセントに差し込みます。



電源コンセント  
AC100V 50 / 60Hz

電源プラグ

- 電源、電圧は安定したところでご使用ください。
- 電源は終夜電源にして、他の機器と独立させてください。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり火災の原因となります。

# すぐにご使用になる場合

下記の設定内容でしたら、電源プラグをコンセントに差し込むだけで、設定なしでもご使用いただけます。

➤ 設定内容：締日が“月末”または“15日”で、午前 3:00 をまたぐ勤務の人がいない場合は、そのままお使いいただくことができます。

- 締日 = 月末または 15 日   ・ A カードを使用します。
- 印字段切換時刻 = 3:00   ・ タイムレコーダー上の 1 日の開始時刻です。  
この時刻を境に、印字する段を切り換えます。  
・ 印字段切換時刻は就業者がいない時刻を選びます。  
午前 3:00 を超える勤務が頻繁にある場合、設定変更する必要があります。（23 ページ参照）

## 初期値一覧表

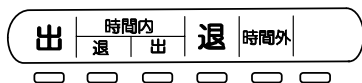
内容	設定値	初期値	参照ページ
締日	01~31	31 (月末締め)	16
空段位置	01~32 (アマン A、B、C カード使用時は、 設定の必要がありません)	01 (1 段目)	17
印字段切換時刻	00~23	03 (午前 3:00)	23
印字フォーマット	①表裏判定 1: 表裏判定あり 2: 表裏判定なし	1 (あり)	20
	②時計表示切換 1: 24 時間制 2: 12 時間制	1 (24 時間制)	20
	③分印字表現 1: 60 進法      2: 100 進法 A 3: 100 進法 B    4: 10 進法	1 (60 進法)	20
	④曜日印字 0: 日付      1: 漢字 2: 英語      3: 印字しない	1 (漢字)	22
サマータイム	サマータイム開始日 実行時刻 0:00~9:00 サマータイム終了日		24



# 毎日の使いかた

## 出勤・退勤の選びかた

「出」「退」の印字位置は、欄ボタンを押して選びます。



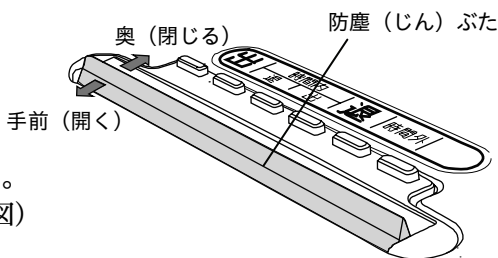
- 欄ボタンが赤く点灯しているところに印字します。他の欄に印字したい場合は、印字したい欄ボタンを押します。

## タイムカードの入れかた

印字欄を確認してタイムカードを軽く挿入します。

タイムカードは自動的に引き込まれ、印字されます。

- 防塵(じん)ぶたを確認してください。手前で開き、奥で閉まります。(右図)
- 自動引込式です。無理に押し込んだり、印字中に引き抜いたりしないでください。
- 《表裏判定機能付(20ページ参照)》  
表裏を誤って挿入すると、印字せずにカードを排出して「ピコピコピコ」とエラー音を鳴らします。ただし、上下を誤って挿入すると印字してしまいますのでご注意ください。



- 付せん紙やクリップをつけた状態でタイムカードを挿入すると紙詰まりなどの原因になります。



### 《時刻改ざん印字(不正防止のため)》

- 時計を5分以上変更すると、変更後初めての打刻のみ「時の位」の印字が小文字になります。時刻を元に戻した場合は、5分以上の変更であっても通常どおり大文字で印字します。

通常	変更後
月 8:28	月 8:20

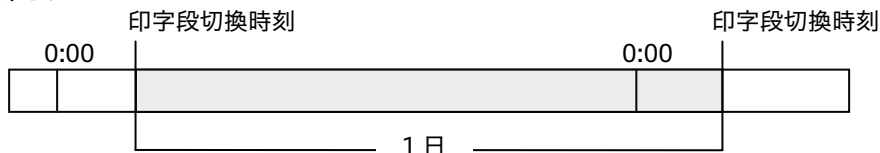
- サマータイムの設定操作をした日に、自動的に1時間進んだり遅れたりした場合も、最初の打刻のみ「時の位」が小文字になります。設定操作をした日でなければ、通常どおり大文字で印字します。

# 出勤者の人数を確認したい場合

BX6000には、1日の出勤人数をカウントする機能があります。

(お弁当の予約や、打ち忘れのチェックに役立ちます)

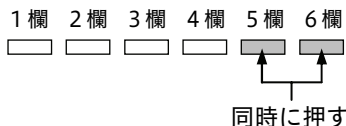
1日とは



印字段切換時刻は午前 3:00 にセットされています。

## ■ カウントを表示させる場合

時計表示画面で5、6欄ボタンを同時に押します。



出勤打刻回数



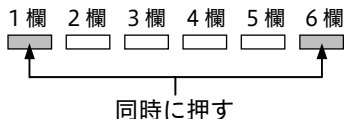
欄ボタンがすべて消灯して、出勤打刻回数を表示します。

カウント数は最大で4桁(9999打刻)まで表示できます。

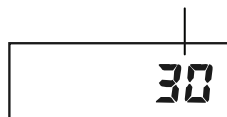
5、6欄ボタンを離すと、2秒間カウント表示した後、時計表示画面に戻ります。

## ■ 1日の途中で打刻回数をクリアする場合

時計表示画面で1、6欄を同時に2秒以上押します。



現時点の出勤打刻回数



2秒以上  
ボタンを押す



ピーッと音が鳴り、出勤打刻回数がクリアされます。

表示は0に変わります。

注) 2秒以内にボタンを離すと、すぐに時計表示となり、出勤打刻回数はクリアされません。

■ 1日が経過すると(印字段切換時刻を過ぎると)、出勤打刻回数は自動的に0にクリアされます。

# 設定のしかた

## 上ケースの開閉



警告



分解禁止

・本機の上ケース以外は外さない。  
内部は電圧の高い部分があり、  
感電のおそれがあります。



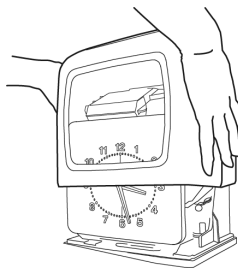
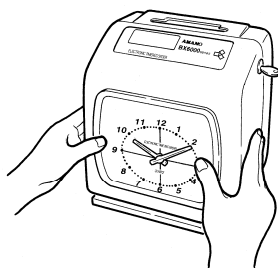
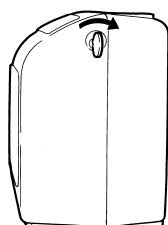
改造禁止

・本機を改造しない。  
火災、感電のおそれがあります。

時計合わせ・設定変更・リボンカセット交換等の時、上ケースを開けます。

ご注意 上ケースの開閉は電源を入れた状態で行ってください

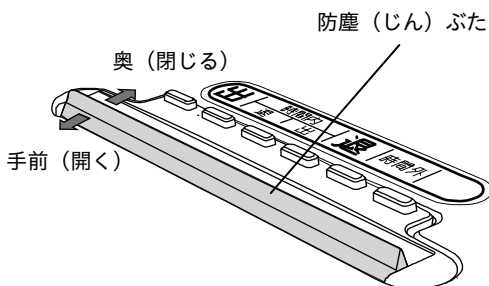
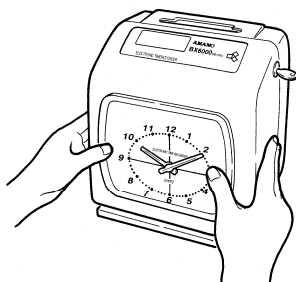
### 開けかた



1. 付属のカギを差し込んで回します。

2. 上ケースを持ち上げます。

### 閉めかた



上ケースを閉め、付属のカギで施錠します。

上ケースを閉めると時計の針が回り、一度 12:00 で止まり、その後現在時刻に戻ります。

注) 上ケースを閉められない場合、防塵(じん)ぶたが開きすぎている可能性があります。  
防塵(じん)ぶたを何度か開閉し、軽く開いた状態にしてください。

## 締日の変更が必要な場合

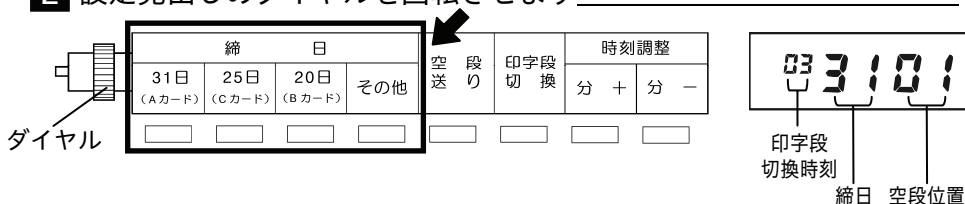
締日とは、1か月単位の処理月の最終日を言います。締日が月末または15日（アマノAカード）使用の場合は、変更する必要がありません。

締日が20日または5日（Bカード使用）の場合は、20日（Bカード）の締日ボタンを、また締日が25日または10日（Cカード使用）の場合は、25日（Cカード）の締日ボタンを押すだけで締日を変更できます。

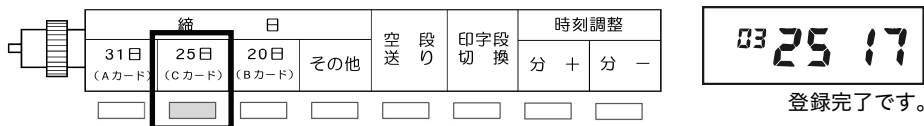
例：締日を25日に設定する（アマノCカード使用）

**1** 上ケースを開けます（15ページ参照）\_\_\_\_\_

**2** 設定見出しのダイヤルを回転させます \_\_\_\_\_



**3** 変更したい締日のボタンを押します \_\_\_\_\_



・その他ボタンはアマノDカード用であり、アマノA、B、Cカードご利用以外で締日を設定する際に押します。

・その他ボタンで締日を変更した場合は、必ず空段送りボタンで空段を合わせます。

注）A、B、Cカードを選択すると空段は自動的に変更されます。

**4** 上ケースを閉めます（15ページ参照）\_\_\_\_\_

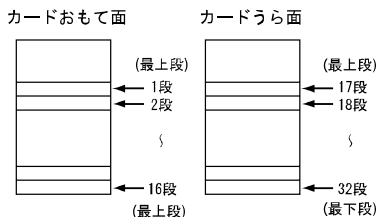
# 空段位置の変更が必要な場合

空段とは、タイムカードで両面 32 段のうち空白にする段を言います。  
タイムカードのおもて面最上段を 1 段、うら面最下段を 32 段として、空段にしたい段を数字でセットします。

縮日を設定すると空段は自動的に次のようにセットされます。

アマノ D カードを使用する場合は空段位置を確認する必要があります。

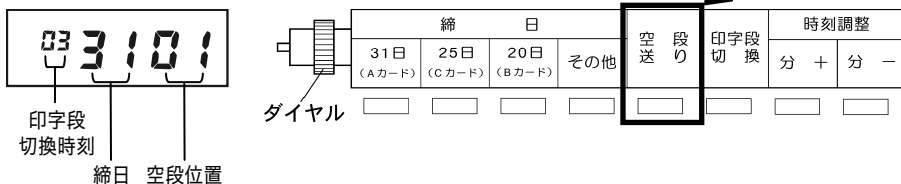
縮日	空段位置	対応カード
月末/15日	1 段	アマノ A カード
20日/5日	17 段	アマノ B カード
25日/10日	17 段	アマノ C カード



例：空段を 7 段目にする

**1** 上ケースを開けます(15 ページ参照) \_\_\_\_\_

**2** 設定見出しのダイヤルを回転させます \_\_\_\_\_



**3** 空段送りボタンを押します \_\_\_\_\_



ボタンを押すと、空段の位置が変わります。  
希望する空段になるまで押します。  
押し続けると早送りします。



登録完了です。

**4** 上ケースを閉めます(15 ページ参照) \_\_\_\_\_

# 時計を合わせたい場合

時計が遅れたり進んだときに、時計を合わせます。

時計の合わせかたには二通りあります。

通常は、「分の合わせかた」で時計を合わせます。

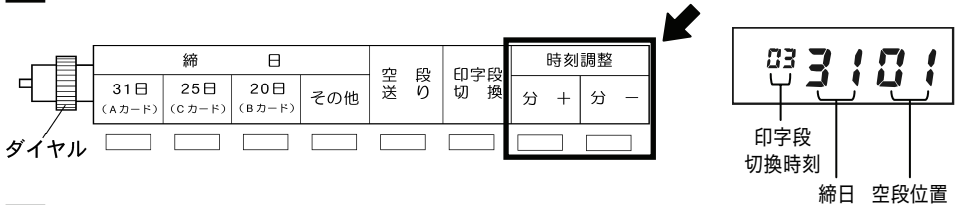
日付や時間が違うときには「日付・時刻の合わせかた」で時計を合わせます。

ご注意 時計合わせを行いますと、時計の針は自動的に動きます。  
アナログ時計の針には触れないでください。  
時計部の故障の原因となります。

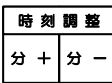
## 《分の合わせかた（微調整）》

1 上ケースを開けます(15 ページ参照)

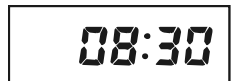
2 設定見出しのダイヤルを回転させます



3 分+ボタンと分-ボタンで時計を合わせます



分+ボタン、分-ボタンを押すと、画面が時計表示に変わります。



1 回押すと時計が1分進みます。押し続けると早送りします。押した瞬間、0秒となります。

1 回押すと時計が1分戻ります。押し続けると早送りします。押した瞬間、0秒となります。

※数分の遅れや進みであれば分+、分-ボタンを押して時刻調整します。

数十分の遅れや進みであれば、「日付・時刻の合わせかた」の分ボタンを押して、時刻調整します。(19 ページ参照)

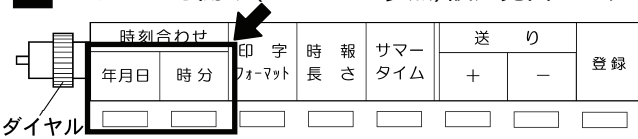
4 上ケースを閉めます(15 ページ参照)

## 《日付・時刻の合わせかた》

年・月・日・時・分の修正をします。

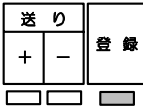
例：2018年4月1日18:00を2018年4月3日8:30に変更する

**1** 上ケースを開け(15 ページ参照)設定見出しのダイヤルを回転させます



年が点滅します。

**2** 西暦年を合わせます

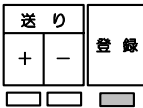


西暦年を確認します。  
修正する必要がある場合は「登録」ボタンを押します。



「登録」ボタンを押すと  
月が点滅します。

**3** 月を合わせます

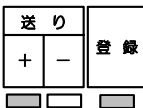


月を確認します。  
修正する必要がある場合は「登録」ボタンを押します。



「登録」ボタンを押すと  
日が点滅します。

**4** 日を合わせます



3 になるまで「+」ボタンを押します。



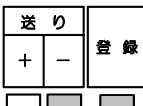
「登録」ボタンを押すと  
確定します。

**5** 時分ボタンを押します



時が点滅します。

**6** 時を合わせます

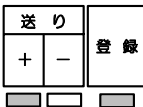


8 になるまで「-」ボタンを押します。

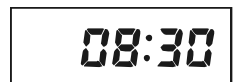


「登録」ボタンを押すと  
分が点滅します。

**7** 分を合わせます



30 になるまで「+」ボタンを押します。



「登録」ボタンを押した  
瞬間に 0 秒スタート  
します。

⇒ 上ケースを開けると、時計表示に戻ります。

⇒ 年は、2099 年まで設定できます。

# 印字フォーマットの変更

印字フォーマットとは、表裏判定の有無、時刻や曜日の印字形式を決めることです。

時計を 24 時間制または 12 時間制で表示するかの設定も行えます。

月 火 水 木 金 土 日	①表裏判定 1: 表裏判定有 (アマノ A・B・C カード使用) 2: 表裏判定無し (アマノ D カード使用)		
① 表裏判定	② 時計表示	③ 分印字表現	④ 曜日印字
② 時計表示	③ 分印字表現	④ 曜日印字	
③ 分印字表現	④ 曜日印字		
④ 曜日印字			

例：表裏判定あり、時計は 12 時間表示、分は 100 進法 B、曜日は日付印字に変更する

**1** 上ケースを開けます (15 ページ参照)

**2** 設定見出しのダイヤルを回転させます

年月日 時刻合わせ 印字フォーマット 時報長さ サマータイム 送り + - 登録

ダイヤル

赤ランプが点灯します。

年月日が表示されます。

**3** 印字フォーマットボタンを押します

印字フォーマット

ボタンを押すと画面が変わります。  
表裏判定の項目が点滅します。

表裏判定 分印字 時計表示 曜日印字

**4** 表裏判定を変更します

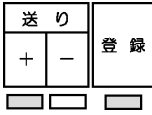
送り + - 登録

変更の必要がない場合は登録ボタンを押します。

登録ボタンを押すと時計表示の項目が点滅します。

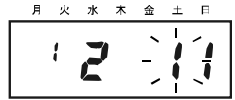


## 5 時計表示を変更します



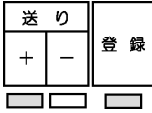
2になるまで「+」ボタンを押します。

注) 12 時間表示にした場合、時計表示は変わりますが、タイムカードの印字は変わりません。



登録ボタンを押すと分印字表現の項目が点滅します。

## 6 分印字表現を変更します

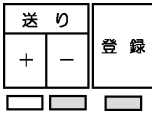


3になるまで「+」ボタンを押します。



登録ボタンを押すと曜日印字の項目が点滅します。

## 7 曜日印字を変更します



0になるまで「-」ボタンを押します。  
登録ボタンを押すと登録完了です。



登録完了です。

## 8 上ケースを閉めます(15 ページ参照)

### 分印字表現

60進法	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
100進法A	0	2	3	5	7	8	10	12	13	15	17	18	20	22	23
100進法B	0	0	0	5	5	5	10	10	10	15	15	15	20	20	20
10進法	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	2	2	2

60進法	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
100進法A	25	27	28	30	32	33	35	37	38	40	42	43	45	47	48
100進法B	25	25	25	30	30	30	35	35	35	40	40	40	45	45	45
10進法	2	2	2	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4

60進法	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44
100進法A	50	52	53	55	57	58	60	62	63	65	67	68	70	72	73
100進法B	50	50	50	55	55	55	60	60	60	65	65	65	70	70	70
10進法	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	7	7	7

60進法	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
100進法A	75	77	78	80	82	83	85	87	88	90	92	93	95	97	98
100進法B	75	75	75	80	80	80	85	85	85	90	90	90	95	95	95
10進法	7	7	7	8	8	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9

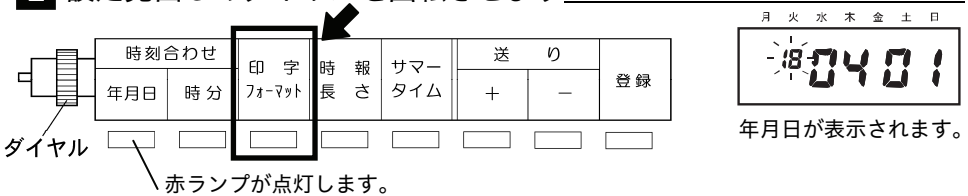
# 曜日の印字を変更したい場合

タイムカードに印字する曜日の種類を変更します。曜日印字以外の変更については、20 ページ「印字フォーマットの変更」をご覧ください。

例：曜日印字を日付印字に変更する

1 上ケースを開けます(15 ページ参照) \_\_\_\_\_

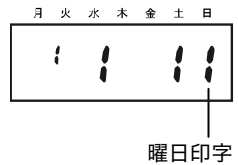
2 設定見出しのダイヤルを回転させます \_\_\_\_\_



3 印字フォーマットボタンを押します \_\_\_\_\_



ボタンを押すと画面が変わります。



4 登録ボタンを 4 回押します \_\_\_\_\_



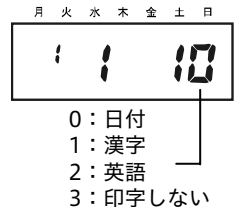
曜日印字の数値が点滅します。



5 曜日印字を変更します \_\_\_\_\_



0 になるまで「-」ボタンを押します。  
0 になりましたら「登録」ボタンを押します。



6 上ケースを閉めます(15 ページ参照) \_\_\_\_\_

日	定時	時間	内	定時	時間外	小計
付	出	退	出	退		
26	8:02					

日付の印字になりました。

# 印字段切換時刻の変更が必要な場合

印字段切換時刻とはタイムレコーダー上の1日の開始時刻です。設定した時刻を境に印字段が切り換わります。

初期値は午前 3:00 に切り換わるように設定されています。午前 3:00 から翌日の午前 2:59 までが同じ印字段に印字されます。

午前 3:00 を越えると印字段が切り換わります。この時刻を越える勤務がある場合は、出勤と退勤が異なった段に印字されます。

日付	定時		時間内		定時		時間外	小計
	出	退	出	退	退	退		
1月22日	09							
2					* 5:10			

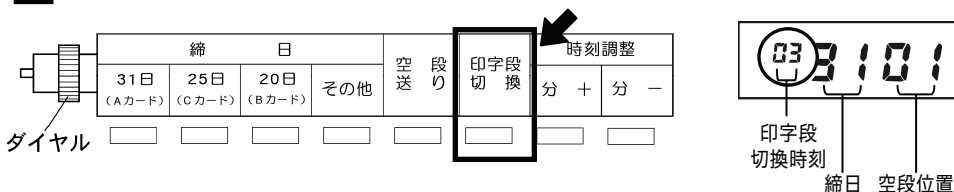
午前 3:00 を越える勤務が主な場合、印字段切換時刻を他の時刻（1日の中で勤務されている方がいない時刻）に変更します。

印字段切換時刻は、00 分固定の時間単位で変更します。

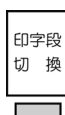
例：印字段切換時刻を午前 6:00 に設定する

**1** 上ケースを開けます(15 ページ参照) \_\_\_\_\_

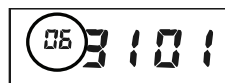
**2** 設定見出しのダイヤルを回転させます \_\_\_\_\_



**3** 印字段切換ボタンを押します \_\_\_\_\_



ボタンを押すと、印字段切換時刻が変わります。希望する印字段切換時刻になるまで押し続けてください。押し続けると、早送りします。



登録完了です。

**4** 上ケースを閉めます(15 ページ参照) \_\_\_\_\_

印字段切換時刻を午前 6:00 に設定すると、翌日の午前 5:59 までは同じ印字段になります。

日付	定時		時間内		定時		時間外	小計
	出	退	出	退	退	退		
1月22日	09				* 5:10			
2								

# サマータイムの設定をしたい場合

日本国内において、サマータイムが導入されたときに使用します。サマータイムの開始/終了日と、実行時刻を設定します。開始日の実行時刻に時計が1時間進み、終了日の実行時刻に1時間戻ります。

## サマータイム設定の自動更新

例えば、開始日=2019年4月7日(日曜日)、  
終了日=2019年10月27日(日曜日)と設定した場合  
本機は開始日を4月の最初の日曜日、終了日を10月の最後の日曜日と認識します。そのため、サマータイム終了日を過ぎると、  
開始日=2020年4月5日(日曜日)、  
終了日=2020年10月25日(日曜日)に自動的に設定し直されます。  
1度設定をすれば、その後は設定不要です。

例：開始日を2019年4月7日、実行時刻を午前5:00に設定する

### 1 上ケースを開け(15ページ参照)設定見出しのダイヤルを回転させます

ダイヤル

時刻合わせ  
年月日 時分

印字フォーマット

時長

サマータイム

送り  
+ -

登録

年月日が表示されます。

赤ランプが点灯します。

### 2 サマータイムボタンを押します

サマータイム

サマータイムボタンを押すと画面が変わります。

年月日が表示されます。

### 3 +または-ボタンを押します

送り  
+ -

+か-ボタンを押すと、開始年月日とその曜日表示します。

開始年が点滅します。

### 4 西暦年を合わせます

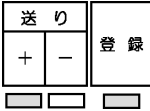
送り  
+ -

登録

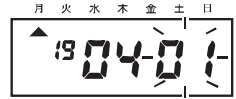
西暦年を確認します。修正する必要がなければ登録ボタンを押します。

登録ボタンを押すと月が点滅します。

## 5 月を合わせます

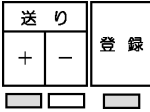


4 になるまで **+** ボタンを押します。  
4 になりましたら **登録** ボタンを押します。



**登録** ボタンを押すと  
日が点滅します。

## 6 日を合わせます



7 になるまで **+** ボタンを押します。  
7 になりましたら **登録** ボタンを押します。



4 月 7 日の曜日を表示します。

## 7 登録ボタンを押します

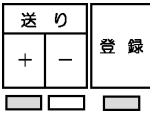


**登録** ボタンを押すと、実行時刻を  
表示します。



実行時刻が点滅します。

## 8 実行時刻を設定します



5 になるまで **+** ボタンを押します。  
5 になりましたら **登録** ボタンを押します。



注) 実行時刻の設定は、「時」のみで、  
「分」は 00 分固定です。

**登録** ボタンを押すと、  
点滅が点灯に変わります。

## 9 登録ボタンを押します



**登録** ボタンを押すと、終了年月日の設定  
に移ります。開始年月日と同じように設定  
します。



## 10 上ケースを閉めます (15 ページ参照)

### ■ 設定の確認をしたい場合

設定終了後、サマータイムボタンを押すごとに、開始年月日→実行時刻→終了年月日と表示が変わり、設定の確認ができます。

### ■ 設定の取消しをしたい場合

開始年月日と終了年月日を同じにすると、設定が取消されます。

# こんなときには

## 故障かなと思ったら

### 警告



ぬれ手禁止

- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電のおそれがあります。



禁止

- ・電源コードを傷つけたり、破損しない。  
また、重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電のおそれがあります。

### 注意



プラグを持って抜く

- ・電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。


現象	原因と処理
カードが入らない	・停電中 (表示器が消灯) ⇨ 復電するまで待つ
	・電源コードが抜けている ⇨ 電源プラグをコンセントへしっかりと差し込む
	・カードを引き抜いたり無理に ⇨ 一度電源プラグを抜き、差し込み直す押し込んだりした
“ピコピコピコッと音がして印字しない”	・カード面を逆に挿入した ⇨ カードの表裏を反対にして挿入する
“ピーッ”と音がして印字しない”	・カード挿入の失敗 ⇨ 軽く押しぎみに挿入する
時計が進まない	・停電中 ⇨ 復電するまで待つ
	・電源コードが抜けている ⇨ 電源プラグをコンセントへしっかりと差し込む
	・時計部の動作不良 ⇨ 一度電源プラグを抜き、差し込み直す
時計が遅れている (進んでいる)	・時計合わせの間違い ⇨ 「分の合わせかた」 P.18 参照
	・長時間の停電 ⇨ 「日付・時刻の合わせかた」 P.19 参照
	・時計部の動作不良 ⇨ 一度電源プラグを抜き、差し込み直す
曜日・日付が違う	・日付合わせの間違い ⇨ 「日付・時刻の合わせかた」 P.19 参照
印字がうすい (印字が欠ける)	・リボンカセットの寿命 ⇨ 「リボンカセットの交換」 P.30 参照
	・リボンカセットの装着間違い ⇨ 正しくセットし直す
印字段が違う	・締日などの設定間違い ⇨ 締日、空段、印字段切換時刻、日付、時刻の設定を確認する
印字欄が違う	・印字欄の選択間違い ⇨ 正しい印字欄を選択する
印字が流れる	・利用方法の間違い ⇨ 印字動作中カードを引き抜いたり、押し込んだりしない

## エラーコード一覧とメッセージ

エラー音がして、出退ボタンのランプが消えた場合は、本体内部で異常が発生しています。電源コードを一度抜き、10 秒ほどしてから再度コンセントへ差し込んでください。回復しない場合はエラー表示を確認後、弊社支店・営業所または弊社タイムレコーダー・サポートセンターへご連絡ください。

エラー番号	エラー内容	処 置
Err 1	時計ホームポジションセンサーエラー	弊社支店・営業所または 弊社タイムレコーダー・ サポートセンターへご連絡 ください。
Err 2	欄ホームポジションセンサーエラー	
Err 3	印字タイミングパルスセンサーエラー	
Err 4	遮光センサーエラー	カードを再度 挿入してください。

※Err 1 は打刻できます。Err 2・Err 3 は打刻できません。Err 4 が連続して発生する場合も、打刻できません。

メッセージ	原因と処理
 を表示	停電中にバッテリーの容量が少なくなった。 ⇨ 復電後、充電する (別売りのバッテリーキット使用時のみ発生)

# ニカド電池について (バッテリーキット使用時)

## ⚠ 危険



禁止

・電池を火の中に投入したり、加熱しない。  
電池を破裂させる原因となります。



禁止

・電池を指定機器以外に使用しない。  
異常な電流が流れたりして、液もれ、発熱、破裂させる原因となります。



分解禁止

・電池を分解、改造、直接ハンダ付けしない。  
電池の液もれ、発熱、破裂の原因となります。



指示

・電池の液(強アルカリ性)が目に入った場合は、失明の原因になります。こすらずにすぐにきれいな水で充分洗った後、ただちに医師の診察を受けてください。

## ⚠ 警告



水ぬれ禁止

・電池を水や海水につけたりぬらさない。  
電池を発熱させたり、錆の原因となります。また、錆が発生するとガス排出弁の機能が損なわれることがあり、その状態で使用すると破裂の原因となります。



禁止

・電池の外装チューブを剥がしたり、キズをつけない。  
電池を液もれ、発熱、破裂させる原因となります。



禁止

・電池が液もれしたり、変形・変色・破損したり、またそれ以外に今までと異なることに気がついたときは使用しない。



指示

・電池の液(強アルカリ性)が皮膚や衣服に付着した場合は、皮膚に障害を起こす原因となります。すぐにきれいな水で充分洗い流してください。

## ⚠ 注意



禁止

・電池に強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない。  
電池を液もれ、発熱、破裂させる原因となります。



指示

・電池のコネクターやリード線を持って電池を持ち運ばない。  
電池の破損の原因となります。

### ■保守

バッテリー(ニッケルカドミウム蓄電池)の耐用年数は2年間です。定期的に交換してください。ご使用済みのニカド電池は貴重な資源です。再利用しますので廃棄しないで弊社支店・営業所にお持ちください。



Ni-Cd

### ■仕様

停電時動作：バッテリー(フルパワーリザーブ)が満充電時の動作仕様は以下となります。

時計歩進、印字動作 200 回 (72 時間以内)

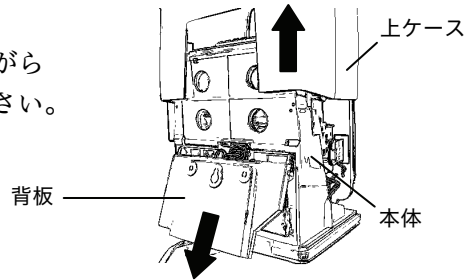
種 類	ニカド電池
電 圧	6V 600mAh
電池タイプ	円筒密閉型



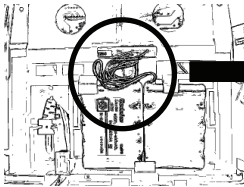
# バッテリーの取りはずしかた(バッテリーキット使用時)

## 1 電源プラグを抜いて上ケースを開け、次に背板をはずします

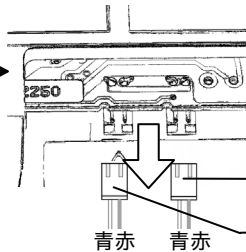
背板を持って、下部を手前に引きながら下に降ろすようにしてはずしてください。



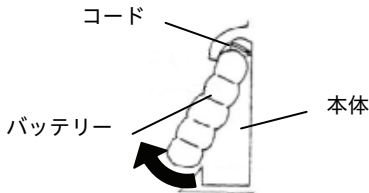
## 2 バッテリーコネクタ (2本) をはずします



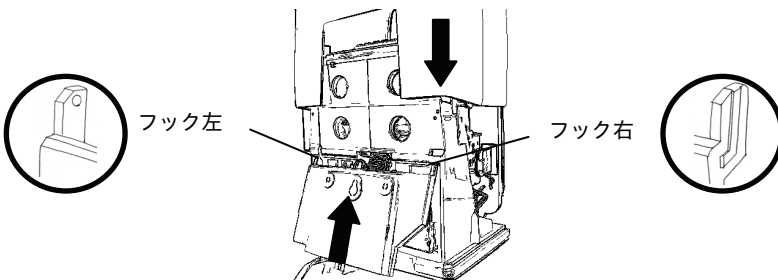
(図2)



## 3 バッテリーを取りはずします



## 4 背板をはめこみます



## 5 上ケースを閉めて、電源プラグを差しこみます

電源プラグを差しこむと現在時刻が表示されます。

# 印字が薄くなってきたら(リボンカセットの交換)

**警告**



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電の原因となります。

**注意**



プラグを持って抜く

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

**注意**



高温注意

高温注意シールのところは触れない。  
やけどの原因となることがあります。

## お願い

上ケースを開けてリボンカセット交換等を行うときは、スチールデスクなどの大きな金属に触れて除電して(静電気を取り除いて)から作業してください。故障等の原因となることがあります。

## ご注意

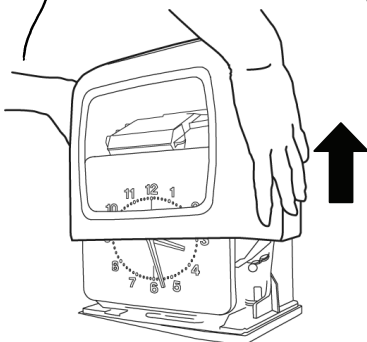
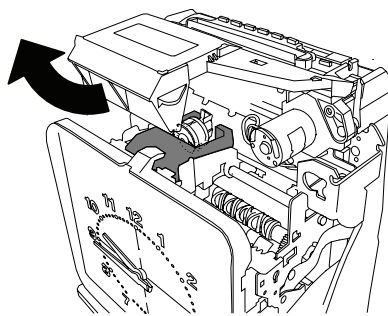
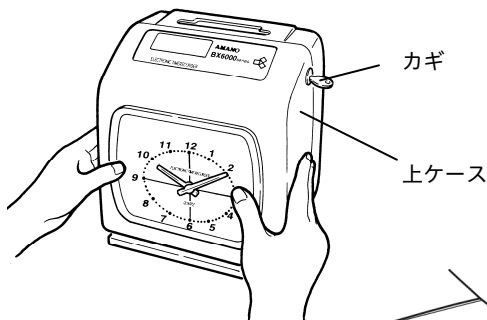
誤って欄ボタン(設定ボタン)に触れると、設定が変わる恐れがあります。欄ボタン(設定ボタン)に触れないようにご注意ください。

タイムカードの印字が薄くなった場合、リボンカセットを交換してください。

品名：CE-315150

**1** 上ケースを開けます  
(15 ページ参照)

**2** 電源コードを抜き、表示器の取っ手を持って上に持ち上げます



## ご注意

上ケースを開けた状態でアナログ時計に触れないでください。正しい時計表示とならない場合があります。



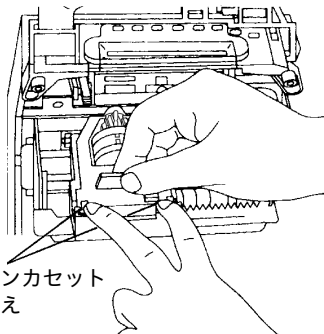
注意



高温注意

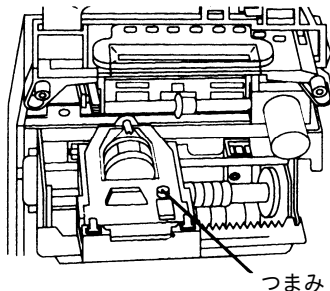
高温注意シールのところは触れない。  
やけどの原因となることがあります。

- 3** リボンカセット押さえを手前に引いたまま、リボンカセットを取り出し、新しいリボンカセットをセットします



リボンカセット押さえを手前に引いたまま、リボンカセットの取っ手をもって引き抜くように取り出します。

- 4** セット後、リボンカセットのつまみを時計回りの方向に回して、リボンのたるみをとってください



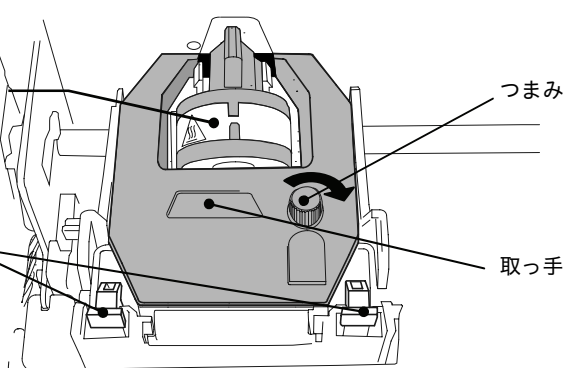
注) つまみは必ず時計回りの方向に回してください。反対に回すと、正常にリボン送りができなくなるおそれがあります。(下図参照)



高温注意

印字動作により  
高温になる部分

リボンカセット  
押さえ

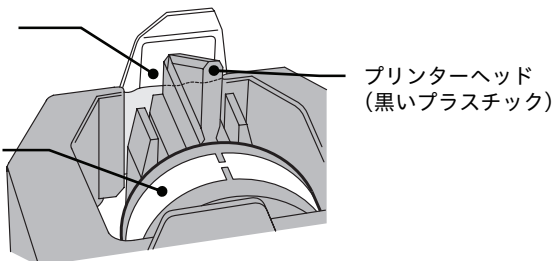


リボンガイド(金属の板)



高温注意

印字動作により  
高温になる部分



リボンを、リボンガイドとプリンターヘッドの間に正しく入れます。  
セット後、つまみを時計回りの方向に回して、リボンのたるみをとってください。

# 保守

## 警告



ぬれ手禁止

- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電のおそれがあります。



スプレー禁止

- ・可燃性のスプレー(ほこり除去スプレー、殺虫スプレー、除菌スプレーなど)を噴霧しない。  
火災・爆発の原因になります。



有機溶剤禁止

- ・有機溶剤(ベンジン、シンナー、除光液など)を使用しない。  
変形・溶解して、感電や火災の危険があります。

## 注意



プラグを抜く

- ・電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

## 日常のお手入れ

### ■ 普段のお手入れ

ケースの汚れは、乾いた柔らかい布(綿・ネルなど)で軽く拭き取ってください。  
※硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、ケースの表面に傷がつきますので、  
ご注意ください。特に窓ガラスは柔らかい布で乾拭きしてください。  
(表面は特殊加工されていますので、ご注意ください。)

### ■ 汚れがひどいときは

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした柔らかい布(綿・ネルなど)  
を固くしぼったもので拭き取り、その後、柔らかい乾いた布で乾拭きしてくださ  
い。

※本体および電源コード類に有機溶剤(ベンジン、シンナー、除光液など)を使  
用しないでください。変形・溶解して、感電や火災の危険があります。

### ■ 電源プラグも定期的にお手入れ

トラッキング火災防止のため、電源プラグも定期的にお手入れください。

(トラッキング火災: 差しっぱなしのコンセントにほこりと水分が溜まり、プラ  
グとの間にスパークが発生し、出火するという火災です)

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグについたほこりのお掃除は乾いた手で電源プラグを抜き、乾いた布で  
拭き取ります。また、コンセントの周辺のほこりも取り除いてください。

# 付録

## 製品仕様

使用電源：AC100V±10% (50/60Hz)

消費電力：待機時 2W 定格 8W

環境条件：温度 -10℃～45℃

湿度 10%RH～90% RH (結露のないこと)

外形寸法：幅 222mm×高さ 236mm×奥行 162mm

質量 (重量)：3.2Kg

時計方式：水晶発振方式週差±3秒以内 (25℃±5℃)

メモリー保持機能：リチウム電池にて工場出荷時より停電累計で3年間  
(内部時計以外の機能はすべて停止します。)

無停電機能：時計歩進、印字動作 200回 (72時間以内)  
(オプション) 無停電機能が動作しているときは、欄ボタンが点滅します。

## 消耗品・別売品

JAN：JANコードを表します。

アマノ標準タイムカード (1箱 100枚)

[標準] Aカード  
月末/15日締め用



JAN：4946267100014

[標準] Bカード  
20日/5日締め用



JAN：4946267100021

[標準] Cカード  
25日/10日締め用



JAN：4946267100038

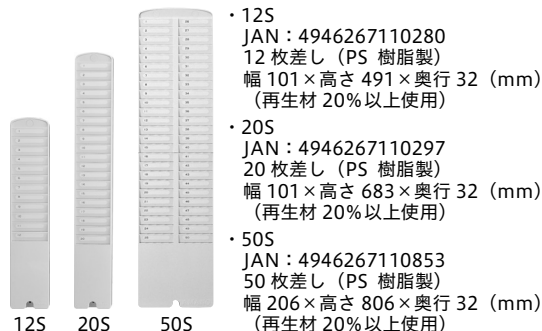
[標準] Dカード (日付印刷なし) JAN：4946267100045

リボンカセット



品名：CE-315150  
JAN：4946267120081  
単色：黒

カードラック (サイズの単位は mm です。)



- ・125  
JAN：4946267110280  
12枚差し (PS樹脂製)  
幅 101×高さ 491×奥行 32 (mm)  
(再生材 20%以上使用)
- ・205  
JAN：4946267110297  
20枚差し (PS樹脂製)  
幅 101×高さ 683×奥行 32 (mm)  
(再生材 20%以上使用)
- ・505  
JAN：4946267110853  
50枚差し (PS樹脂製)  
幅 206×高さ 806×奥行 32 (mm)  
(再生材 20%以上使用)

■デザイン・仕様は予告なく変更することがございます。

# 製品保証とアフターサービス

本機の無償製品保証サービスは、製品保証登録をして頂くことではじめて有効になります。ご購入後、インターネットの弊社の製品保証登録サイトからご購入機器の情報をご登録ください。

## 製品保証サービスについて

---

### ■保証期間について

保証期間の間に故障した場合には、保証登録の上、お買い上げの販売店もしくは弊社メンテナンスセンター・支店・営業所にご購入日が確認できる書類（レシートなど）をご用意いただき、修理をご依頼ください。保証期間は、購入日より1年間です。

### ■保証期間内でも次のような場合は有償になります。

- (1) 保証登録のない場合。あるいは、保証登録の所定事項の未記入や字句を書き換えられたもの及びご購入日が確認できる書類（レシートなど）のないとき。
- (2) 誤った使いかたまたは、改造や不当な修理による故障及び損傷。
- (3) 火災・地震その他の天災地変による故障及び損傷。
- (4) 異常電圧、害虫（ゴキブリなど）による故障及び損傷。
- (5) 一度取り付けた後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
- (6) 出張しておこなう取扱説明、設定、時計調整、縮日の変更や機械故障以外の調整あるいは、リボンカセットなど消耗品の交換、修理、点検、お引取りが発生した場合。
- (7) アマノ製品以外の消耗品（タイムカード・リボンカセットなど）の使用に起因して生じた本体の損傷、故障及び障害。
- (8) 製品に貼付しているラベルまたはプレートを毀損、または剥がすなど製品の商品名または製造番号を判別不能または判別困難としているとき。

## 保証期間経過後の修理

---

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有償修理させていただきます。

※本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。





本社／〒222-8558 横浜市港北区大豆戸町 275 番地

<https://www.amano.co.jp/>

#### ■タイムレコーダー サポート&サービス

---

取扱説明書、お問い合わせ、チャットボットのご利用はこちらからご確認ください。

<https://www.amano.co.jp/Tr/support/index.html>

